



なぎさ

小松市立安宅小学校 学校だより

NO. 4

令和3年7月2日

校長 広見 理恵

子どもたちの姿に



保護者の皆様にはご心配をおかけしていましたが、今現在、コロナ感染状況は落ち着いてきており、子どもたちの学校生活も少しずつ元に戻りつつあります。運動場や体育館、教室から子どもたちの生き生きとした声が聞こえることが、心から嬉しく思います。

さて先日、教育委員会や外部の先生方に、今の安宅小の様子を見ていただく機会がありました。その折に言われたことが

①子どもたちの挨拶がよかった

②学校が一体となって取り組みを行っていることが、子どもたちの姿から見えるの2点でした。特に①については「元気な挨拶がよかった」との感想をたくさんいただき、中にはきちんと立ち止まって挨拶をしてくれる児童も多数いたそうで、大変嬉しく思いました。

先日も本校の校務員さんから「お仕事ありがとうございます」と挨拶をしてくれる子がいるとの話を聞きました。挨拶は人としての基本。何のために挨拶をするのか、これからもその意義を伝えていくことを大切にしたいと思います。

また来校者の方が「安宅小学校のいいところは何ですか」という質問を、たまたま通りかかった子数人に聞いたところ、

①「挨拶」がいいところです。

②「あったか言葉・あったか行動ができる」ところです。

③「みんなが仲がいい」ところです。

という答えが子どもから返ってきたそうです。自分の学校の良さを子どもたちがどう捉えているのか、学校・地域・家庭の教育力は子どもたちの姿に現れるのだと思います。

雨の日も風の日も、安宅の子どもたちのために道路に立って下さる「わが町防犯隊」や「民生委員」の皆様の姿から、子どもたちは挨拶の大切さや人のために尽くす姿の美しさを学んでいます。そうした経験が未来の安宅校区を支えていく心意気として受け継がれていくのでしょう。学校でできていることを、外の社会でもできてこそ、本物の力。今後とも、学校地域ぐるみで、安宅の子のよりよい成長を育んでいきましょう。



- ① 水筒の持参をお願いします。
- ② ハンカチも忘れずお願いします。
ハンカチのない子がとても多いです



安宅っ子アラカルト



運営委員会のユニセフ募金にご協力いただき、ありがとうございました。集まった募金は全額寄付させていただきました。募金と挨拶運動を兼ねて実施してくれた運営委員の元気な声が玄関に響いていました。

6月は「歯の衛生月間」です。坂下養護教諭が各クラスで歯の衛生についての授業を行いました。正しい歯の磨き方など、自分の健康を守るための大切な学習を行うことができました。



1年生の朝顔の芽が育ち、6年生と一緒に間引きをしました。中々抜けない芽も、6年生と一緒に間引くことができました。間引いた残りの芽は、6年生がグリーンカーテンにしてくれるそうです。

朝顔と子どもたちと、どちらも成長が楽しみです。



6月18日に6年生がプール掃除を行いました。最初は汚れていたプールも、6年生の真剣な掃除のおかげで、ピカピカに。プールの中だけでなく、プールサイドの草むしりや更衣室の掃除など、全校のために懸命に働いてくれた6年生に感謝です。

